

## 平成 29 年度 社会福祉法人ピースオブマインド・はまゆう 事業計画

### 1. はじめに

平成 28 年度から施行された改正社会福祉法は、いよいよ平成 29 年度より本格的な施行となります。今回の法改正は、社会福祉法人経営を抜本的に変革する内容となっています。法人としても、厚生労働省の示す改正スケジュールに則り、新しい年度を始めることができるための準備に取り組んできたところです。

このような法人を取り巻く社会的な環境が激変する中で法人経営開始から 4 年目を迎えるにあたり、まずは永続的に法人経営を行っていくために昨年 1 年間をかけて策定していた法人基本理念及び基本方針に基づき、更には本年度を初年度として向こう 10 年間を見据えた中長期計画のスタートにあたる 1 年目として、平成 29 年度が極めて重要な 1 年となるとの認識に立ち、この平成 29 年度事業計画（案）を策定したところです。

#### 【基本方針】

法人経営を継続していくことができるための前提条件（経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性向上、財務基盤確立と規律の強化等経営の適正性確立）をしっかりと整備するために、法人一丸で取り組むとともに、改正法を始めとする社会福祉法人を取り巻く環境変化に速やかに対応していくことができる組織作りに取り組んでいきます。

### 2. 計画内容

#### 〔法人〕

法人の事業運営を法令、定款等に従って計画的かつ効率的におこなうとともに、法人の経営状況と財務状況を正確に把握し、透明性の高い財務管理を行い公益性に根ざした事業活動を可能とするために、安定的な財務基盤を確立します。

#### 〔事務局〕

法人経営の根幹を担う部門として、29 年 4 月に完全施行を迎える改正社会福祉法（社会福祉法人制度の見直し）について、福祉サービス事業本部と連携して、すべての事業所が正しい理解のもとで円滑な対応ができるよう適正運営に努めます。

- ・各事業の事業予算の執行状況を適宜把握し、法人の健全な財務規律を確立します。
- ・キャリア形成や能力開発を行うための各種教育・研修の実施を行い、法人が目指す職員像を明示しながら、職員の適正な評価、キャリア形成や自己実現の支援等、職員育成の充実を図ります。
- ・法人の事業展開や福祉情報の情報発信をより広範かつスピーディーに行います。  
また、広報誌『はまゆう通信』の年 4 回発行を引き続き行い、法人の情報発信基地としての機能を発揮します。

- ・許認可庁である下関市や山口県、その他の関係団体等との調整を担うほか、施設の整備工事、備品等の補助金の申請を積極的に担います。
- ・会計事務の仕組みが複雑に変化する中で、経理規程等に基づいた適正な財務管理を行います。
- ・評議員会、理事会の運営については、事業計画、事業報告、予算決算、契約、定款・諸規程類の改廃等重要案件を審議決定すると共に法人事業の経営に対してのご意見、ご要望をいただき、会議の活性化を実現します。

### [福祉サービス事業]

法人の経営する福祉サービス事業部門にあつては、平成 28 年度は大きな事故等もなく、比較的安定した一年となりました。しかしながら目を外に向けると、4 月 1 日に障害者差別解消法が施行されるなど、国内における障害者を取り巻く法整備などの進む中、国民を震撼させた神奈川県相模原市の障害者施設での無差別殺傷事件が発生。一昨年度の下関市の障害者施設で起きた虐待事件に続き、障害者の方への支援を行っている現場関係者や当事者、家族に再び大きな衝撃を与えました。

我々はこれらの事象を他山の石とすることなく、真摯に職務に取り組まなければなりません。平成 29 年度が始まるにあたり、改めて個々の利用者の方への支援が強化され、更なる質の向上に結び付けられるように社内教育体制を強化するとともに、地域で暮らす利用者の方への地域からの理解が深まるように、広報活動を含めた地域との連携を強化していきます。

- ・障害者への虐待はなぜ起きるのか一を根幹から見つめ直し、自らの職責を常に意識して日々の業務に取り組むことのできるスタッフを育成するため、実際のケースに沿って実感のできる社内研修を実施するほか、国内外で規定されている法律についても学ぶなど、幅広い社内教育を施します。
- ・ヒヤリハットや事故報告書が出てきやすい環境を再整備し、リスクマネジメントの強化に努めます。
- ・施設利用者の方のニーズを幅広くくみ取り、より多くの方が法人の経営する各事業所を利用したくなるための環境整備やサービス充実に努めます。
- ・その一環として、ひびき工房川棚事業所の 2 期工事を実施します。
- ・平成 30 年度の報酬改定に向けて、現場の意見を反映しながら十分に対応できる体制を作っていきます。

### [福利厚生 of 充実]

法人内の他事業所、職員間の交流、親睦、ストレスケアは、利用者の方へのより良い支援のために必要であると考え、年 2 回の職員行事を開催します。

また、利用者の方にはレクリエーションを企画し、コミュニケーション能力を高め、集団の中の役割を見出すことで、共に生きることの喜びにつなげていただきます。

次に事業所毎の計画について記載しております。

## 【ワークステーションほっぷ】(就労継続支援 B 型)

下関市武久町 1 丁目 5 番 1 4 号第 3 金家ビル 2 階 定員 30 名

### (事業全般)

平成 28 年度は、昨年度末に一般就労や就労継続支援 A 型事業所へステップアップされた方が 5 名おられたということもあり、苦しい台所事情でのスタートではありましたが、利用率 100% は維持することが出来ました。現在作業所内は、居場所として利用している方、働く場として利用している方に二分化されている感は否めませんが、昨年と比べると全体的に就労意識が上がってきていると思います。

平成 29 年度は利用者の意識が向上したことに比例できるように、作業量を増やし、利用者により沢山の工賃を支給することで、さらに就労チームとして盛り上げられるように取り組んでいきます。

また、現在も就労に前向きなメンバーが複数人おられ、作業所内の支援のみならず、更に上を目指す方へのサポートも充実させる必要があると感じており、利用者の皆様の様々なニーズに応えられるようスタッフ一同スキルアップしていきたいと考えております。

レクリエーション活動については、利用者ニーズを聞き取り、季節毎の行事を組み込んでいきます。

### 〈就労支援活動〉

#### ① 屋外作業

平成 28 年度は、下関市からの委託業務（長府運動場管理委託業務及び扇町運動広場草刈業務）と、新たに長府浄水場内整備清掃業務を加え 2 本の柱で進めてまいりました。前者はライフステーションすてっぷと協力しながら、例年とほぼ変わらない作業工程で行いました。ただ、年間の委託費が昨年度と比較して約 50 万円を削減されたことにより収入面としてはかなり苦しい状態となりました。長府浄水場内整備清掃については、新規導入のため手探りでの作業となりましたが、清掃エリアが広範囲でなく少人数でできるため、これまで施設外就労に参加できていなかった利用者のニーズにも応えることが出来たのではないかと思います。収入面でも前者の委託費減額を十分にカバーできたと思います。

平成 29 年度も引き続き 2 本柱を中心しつつ、新たな業務受注開拓を積極的に行い、工賃向上に取り組んでいこうと考えております。

#### ② 屋内作業

平成 28 年度は、春先から順調なスタートを切りましたが、夏場を迎えたころから円高の影響を受け、請負先（シマノ関係）の減産に伴い作業量の大幅ダウンとなりました。その間、地域情報誌のセットアップを新たに受注し、収益の維持を目指しましたが、減

産を補うまでには至りませんでした。年を跨いだ頃から、生産も復調してきて現在は好調と言える稼働状況になっております。

平成29年度は、復調してきたシマノ関係の請負に加え、地域情報誌のチラシ折りと同誌のセットアップ、それぞれ増産の予定となっており昨年度以上の収益を目指したいと考えております。

## 【ライフステーションすてっぷ】(多機能)

### (就労継続支援 B 型)

下関市長門町10番1号長門プラザ3階 定員30名

### (事業全般)

平成28年度の利用状況は、前年度に引き続き100%を超える利用率でした。前年2月のインフルエンザにより利用減になった教訓を活かし予防接種を積極的に奨励し、一人の発症者も出すことなく、乗り切ることができました。

ハローワーク下関主催による障害者合同面接会を通して一般就労に移行された方が2名、就労継続支援 A 型事業所に2名、合わせ4名の方々がステップアップされました。

事業所内には、就職できる能力を持ち合わせた利用者さんが多く、今後もステップアップが見込まれます。

平成29年度は、28年度同様の平均利用者数維持・向上、並びに事業所内の支援のみならず更なるステップアップを目指す利用者さんへのサポート、工賃向上のため受注開拓を積極的に行う等、スタッフ一丸となって、取り組んでいきます。

また、利用者さんとのレクリエーション活動については、花見と忘年会の他、利用者さんニーズをくみ取り、相談しながら季節毎の行事を取り入れることにしています。

### (就労支援活動)

平成28年度は夏場を迎えたころから円高の影響もあり、屋内作業の主力である自転車部品の組み立て作業量が安定しなかったことにより、室内請負事業収益が減少し、屋外作業は下関市からの委託業務(長府運動場管理委託業務及び扇町運動広場草刈業務)収益が、委託費の引き下げにより、苦しいスタートではありましたが、新規の屋外作業を取り入れることで、工賃向上に努めました。

平成29年度は、現在の委託先のみならず、新たに業務受託開拓を積極的に行い、利用者の工賃向上に結びつけていきます。

## ① 屋外作業

平成28年度は、下関市からの委託業務(長府運動場管理委託業務及び扇町運動広場草刈業務)をワークステーションほっぷと協力しながら、例年と同様な作業工程で行いましたが、委託費削減の影響で大きく収益が減少しましたが、新たに受託した野外作業(中四国厚生局・NTT)でカバーすることができました。

平成29年度は、新たな作業を得られるために、民間企業や公共的団体への働きかけを積極的に行い、工賃アップを目指したいと思います。

## ② 屋内作業

平成28年度は、自転車部品の組み立て作業量が減少したため、取引先に新しい作業の取り入れを交渉し、新規作業にも着手しましたが、前年同様の売上には至りませんでした。しかしながら本年度後半からは、徐々にではありますが自転車部品の組み立て作業量が増加傾向にあります。

平成29年度も厳しい状況にはありますが、取引先に作業量の安定と新しい作業の取り入れ、単価アップの交渉を働きかけて行きます。

### (生活訓練)

下関市彦島福浦町3丁目4番21号ダイワビル1階 定員10名

平成28年度の利用状況は4月～7月の間に4名の新規利用者が加わり、一日の平均利用人数は9名超と、前年度を大きく上回ることができました。要因として、支援内容の拡充及びプログラム内容の見直しと個別支援の強化を行ったことによる利用率の伸びが挙げられます。また、課題にあげていた退所される方の帰着先については、退所者4名の内、従来の就労系サービスに2名、新規開拓としてデイサービスに2名を送り出しました。

平成29年度は2年間の利用期間満了を迎える利用者の方と1年間の利用延長をされた方を合わせて6名が退所する予定になっており、10名の定員を下回る状況になります。それを回避するためには、関係機関への働きかけはもちろんのことですが、さらに「訪問訓練」によるサービスの展開も念頭に入れ、一人でも多くの利用に繋げて行けるように努めたいと考えています

### 【野の花工房】(就労継続支援B型)

下関市菊川町大字下岡枝字後地188番地 菊川総合福祉会館内 定員20名

### (事業全般)

平成28年度の利用状況は、新規利用者の増員並びに課題の一つであった送迎ルートの拡張及びルート見直し改善を図った結果、既存利用者様の利用率は向上しました。

しかし、まだまだ下関圏域における野の花工房の知名度は浸透していないと痛感することから、平成29年度も引き続いて定期的に各関係機関へ情報提供を行っていきます。

レクリエーション活動については、就労収益を上げていくことを重視した結果、28年度は、年始に開催した「三社参り兼食事会」の1回限りでした。

平成29年度のレクリエーションは、利用者の心身リフレッシュを図ること目的に年間計画を立て実行して行きます。

また、地域住民と利用者の交流や地域に対するサービスを意図した活動を積極的に行うことにより、利用率100%にもつなげていきたいと考えています。

### 〈就労支援活動〉

平成28年度は新規で開始した「自然活用村の草刈・清掃業務」（通年）及び「民間企業からの草刈・清掃業務」（臨時）を受注できたことにより、収益が上がり工賃向上につながりました。しかしながら製造部門での委託販売の売り上げは下がったため、平成29年度は委託先の販売強化に力を入れ、更なる工賃向上を目指していきたいと考えています。

#### ① 屋外作業

平成28年度は「安心・安全」を最重要テーマとし、取り組んでまいりました。大きな事故や怪我もなく、丁寧かつ確実に作業に従事することで、無事1年を終えることが出来ました。それが評価され、2月よりコルトーホールの草刈・清掃業務の拡張につながる結果となりました。

平成29年度は、現状維持を行うと共に新規の開拓に努めていきたいと考えています。

#### ② 屋内作業

平成28年度は課題であった廃棄商品のロスを減らし、季節商戦に対する取り組みに力を入れましたが、取引先の一つでもある「とんがり帽子」の閉鎖、「道の駅菊川」・「道の駅豊北」の売上不調により収益は下がる一方でした。

現状を打開していくために販路の拡大を行った結果、「ぼんぼこの里」・「花の海」と新規契約を結ぶことが出来ました。また包装袋やラッピングの工夫、取引先と商品陳列場所についての交渉を行いました。

平成29年度は、取引先担当者様の意見を積極的に取り入れるなどして、引き続き創意工夫を図っていく所存です。

また室内請負のチラシ折りの作業については、継続かつ受注枚数が1部でも増えるように交渉を図っていきたいと考えています。

### 【ひびき工房】（就労継続支援B型） 定員20名

（川棚事業所） 下関市豊浦町大字川棚字分瀬6339番15号

（宇賀出張所） 下関市豊浦町大字宇賀7427番1号

### （事業全般）

平成28年度の利用状況は対前年を上回り、年間を通して利用率100%を達成する見込みです。主要因としては川棚作業所での事業運営が定着し、支援面がより一層充実できたことがあげられます。そのため事業所に対する利用者の高評価な口コミや市役所及び相談支援事業所との連携を密にしたことで、新規利用者の紹介や見学者数が増加し、利用登録者数の更なる増加につながりました。

平成29年度は、前年度からの検討事項であった、利用者人数の増加により不足していた、作業及び休憩スペースの拡張・改装工事等、快適性向上等を目的とする事業所の拡張については、助成金の支給が決定し新年度の4月から着工予定です。

レクリエーションとしては忘年会、花見のほか、利用者の希望する行事を取り入れたり、事業所側からも提案をしていく予定です。

### 〈就労支援活動〉

平成28年度の屋内作業は自転車部品の組み立てを主軸としつつ、作業量は年間を通して波はあるものの、昨年度と比べて概ね順調に収益増を図る事ができました。

平成29年度は、今年度以上の収益増に結びつくよう、現在の作業のみならず新規作業の開拓へ取り組み、利用者の工賃向上につなげていきます。

### ① 屋外作業

平成28年度は、下関市からの委託業務（国見台森林公園管理業務）のほか、前年度から継続して各種の屋外作業に従事しました。作業態勢を考慮した結果、継続を断念した作業もありましたが、新規作業を開拓し従事することもできました。

平成29年度も28年度の作業を継続しながら、作業態勢の状況等を考慮しながら新規作業の獲得にも取り組みます。

### ② 屋内作業

平成28年度は、前年同様に自転車部品の組み立て作業やチラシ折り作業を継続しました。しかしながら自転車部品関係は特に下半期以降から作業量が安定しない状況があり、9月から新規作業（長府機工）を取り入れ従事しました。またその新規作業に関しては徐々に売り上げを伸ばしている状況です。

平成29年度も前年度の作業を継続しながら、直近に長府機工様から受注した屋内作業の追加受注や単価アップ等を取引先に働きかけていきます。また第一・四半期末の事業所改装工事完了にあわせて、利用者が作業に取り組むうえでの安全性や効率性を更に向上していき、業務拡大の態勢作りを進めていきます。

### 【相談支援事業所はまゆう】（指定特定相談支援事業）

下関市武久町1丁目5番14号第3金家ビル2階

平成28年度6月に、相談支援専門員が1名退職したことに伴い、現在2名（男性のみ）の相談支援専門員（1名は施設長及び法人総合施設長兼務）の体制で業務にあたっています。現在の受け持ち件数は124名（平成29年2月末現在）ですが、障害者手帳を基にした障害種別で見ると、71名が精神障害の方で、残りの方が知的障害や身体障害、あるいは意図的に障害者手帳を取得されていない方です。

しかしながら、平成28年度に新たに契約した方に限ってみると、16名中8名の方が精神障害の方で、残りの方が知的及び身体障害の方となっており、徐々に精神障害の方の割合が軽減してきています（同上現在）。

障害福祉サービスを利用する方の範囲も広がる傾向にあり（国の定める特定疾患の方

など)、またご本人の福祉サービス利用支援だけではなく、家族関係調整等といった支援内容の拡大なども予測されるため、必要な知識の蓄積のための各種研修への参加や、関係機関との連携強化などにより、相談支援専門員としての資質向上を図ると同時に、様々なニーズへ対応できるよう必要に応じて体制強化を図りたいと思います。